

# W I N G E S S A Y

DENTAL WING Co.,LTD

—2016年3月号—

☆寒暖の差が激しくなりながらも、間違いなく春の気配を感じます。しばらくすると、桜の季節がやってきます。お別れと出会いの季節でもありますね。人は一人では生きられない。寄り添う人が居てこそ幸せなのだと思います。何事にも「感謝」の心を大切にしたいものです。

☆ここに、1冊の本があります。世界的に著名な細胞生物学者、ブルース・リプトン博士の著書「思考のすごいカーン心はいかにして細胞をコントロールするか」(PHP 研究所)です。

この本を読んで、60兆個もあるといわれる細胞の素晴らしさと、人間の体の素晴らしさに感銘を受けました。昔から「病は気から」といいますね。なるほどと思えることが沢山書かれています。私たちの意識や環境がどれほど細胞をコントロールし、遺伝子の働きを変えるという事実、人として生まれたことへの感謝の念が沸いてきます。

いくつかご紹介させていただきます。

\* 心の力を生かせば、薬(あなたは薬が必要だとプログラミングされているかもしれないが)を飲むよりもずっと効果がある。化学物質よりもエネルギーのほうが、物質に対して効果的に影響を与えることがわかっている。

\* 健康で幸せに暮らしていくために大事なものは、心のエネルギーの方向を切り替えて、活力を生み出す肯定的思考に向かうようにすること、かつ、エネルギーを浪費し消耗を誘うばかりの、常につきまとう否定的な考えを排除することである。

\* 育てている子供の精神的肉体的な性質に、親が途方もない影響を与えているのは間違いない。

\* 覚醒時、就寝時を問わず、彼ら(出世前の子ども)は、常に母親の行動、思考や感情のすべてに同調していることが示されている。受胎の瞬間以降に子宮内で経験したことにより、脳が形成され、性格や感情的気質、高次の思考能力の基礎を築く。

\* 触られることのない子どもたちは、体性感覚性情動障害の発生率が高いという点がある。この障害の特徴は、ストレスホルモン濃度の上昇を抑える生理的機能が働かないことである。ストレスホルモンの濃度が急激に上昇し、それに続いて暴力行為が現れる。

\* 養父母であれ実の親であろうと、大事なことははっきりしている。子どもの遺伝子は単なる可能性を示すものであって、運命を決めるものではない。遺伝子が発現して最高の可能性を実現できるように環境を整えるのは、親であるあなたの役割だ。

\* 人間を成長させてくれる可能性が最も高いのは、費用のかかる学校や、ばかでかいおもちゃや、最高の報酬を得られる仕事ではない。人間の赤ん坊にとっても大人にとっても、成長・増殖を最もよく促進してくれるのは、愛なのだ。

本当に素晴らしい本です。よろしければ是非お読みください。